

## 農村ツーリズム展開方針

令和 2 年 (2020 年) 7 月 20 日  
胆振総合振興局

### 1 地域の現状

○支笏洞爺国立公園を擁する胆振地域は、洞爺湖や登別など本道有数の温泉地や美しい自然景観を有し、国内外から多くの観光客が訪れる全道屈指の観光地です。

○胆振の強みである 1 次、2 次、3 次産業のバランスのとれた地域特性を活かし、それぞれを有機的・広域的に結び付けた観光を推進しており、地域資源を活かした体験（教育）型観光の推進やそれらを活用した新商品の開発、特徴あるイベントの実施など、地域の魅力づくりに取り組んでおります。

### 2 地域の抱える課題

○管内の農業は、北海道としては比較的経営規模は小さいものの、耕種、畜産などバラエティーに富んだ生産が行われており、安全かつ良質な農畜産物の安定生産に努めつつ発展してきましたが、担い手の減少や高齢化により農業構造の脆弱化が懸念されています。

○また、管内の水産業は、太平洋・噴火湾海域で多彩な魚介類が漁獲され、加工業も盛んであるが、地域の過疎化・少子高齢化により、労働力不足が、課題となっております。

○北海道では、農山漁村における所得の向上や雇用の拡大、関係人口の創出などにより地域の活性化を図るため、豊かな自然や食、歴史・文化、生活体験などを観光資源として活かし、農林水産業や観光業など多様な主体が地域ぐるみで農泊や教育旅行に取り組む「農村ツーリズム」を推進しているものの、地域ぐるみでの取組に繋げていくためには更なる地域内の機運の醸成を図る必要があります。

### 3 今後の展開方針

○国や道の取組について、広く情報提供を行っていき、各地域に応じた取組について、その検討を支援するとともに、地域の意向を確認した上で、多様な主体が参画した体制づくりや新たなビジネスモデル作りについて助言等を行います。

○地域の取組PRによる観光客等の増加や、新型コロナウイルス収束後の観光需要の早期回復を図るため、SNS等のツールの活用による情報発信を進めます。

○胆振五大遺産（洞爺湖有珠山ジオパーク、アイヌ文化、縄文遺跡群、むかわ竜、炭鉄港）、特に2020年7月にオープンしたウポポイ（民族共生象徴空間）に係る取組と連携し、管内の広域的な取組となるよう地域を支援します。